

ななお

会議所だより

Nanao Chamber Of Commerce And Industry



<https://www.nanao-cci.or.jp>
mail:office@nanao-cci.or.jp



たきかわ木彫 瀧川 千春作「卯」

CONTENTS

- 年頭所感 2~3
- 新春インタビュー 4
- 建設業部会／商業部会 5
- N-As通信・
景況・業況動向調査のお願い／
「お店のためのInstagram活用セミナー」／セミナーのご案内 6
- DX化ははじめの一歩／ものづくり補助金セミナー 7
- 青年部だより／女性会だより／のと・七尾共創塾 8
- <七尾創業アカデミー第8講を開催>／
<能登SDGs市民大学 2nd season第4回講義を開催>／
<能登SDGs市民大学 2nd season第5回講義を開催> 9
- 認知症の人にやさしいまちプロジェクト 10
- 確定申告の準備はお早めに!!／石川県内の最低賃金／
第163回日商簿記検定試験のご案内／
ご協賛のお願い 11
- トレンド通信／行事カレンダー 12

年頭所感



若者・女性の活躍推進で、 「未来」を見据えた地域イノベーションの推進

七尾商工会議所 会頭 杉野 哲也

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、令和5年の輝かしい新春を健やかにお迎えることとお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、加えてロシアのウクライナ侵攻、急激な円安、エネルギー・原材料価格の高騰により、業種・業態を問わず、多くの事業所の経営に影響が及んでいる中で、事業継続と雇用維持のために懸命に経営努力を続けておられる経営者の皆様に改めて敬意と感謝の意を表します。

当地におきましては、産学官が一体となり能登・七尾の未来（成長）の担い手となる人財育成を目的とする「のと・七尾共創塾」の開講をはじめ、SDGs活動を基礎として経済・社会・環境の三側面における新しい価値創造等を目的とした「能登SDGs市民大学」等に、多くの若者が集い活発な議論を行うなど、持続的な能登・七尾の地域イノベーションのために精力的に取り組んでいます。

七尾商工会議所は、昨年11月1日から新たな体制でスタートいたしました。令和5年を、新型コロナ対策と社会経済活動をより高い次元で両立させる年と位置付け、地域経済並びにそれを支える事業所の皆様の発展のため、引き続き全力を尽くして参ります。

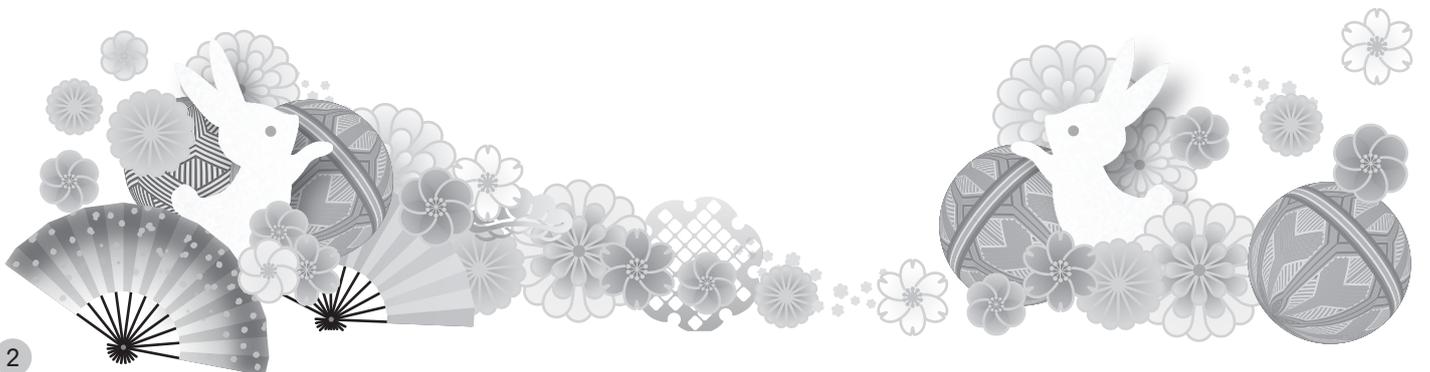
また、社会情勢の激変を乗り越えるために、「頼ら

れる商工会議所」「行動する商工会議所」になる必要があります。

社会全体はデジタル化へと舵が切られており、事業所におけるデジタル化の推進に向けた取り組みは、商工会議所の重要課題です。社会情勢が激変した今、DX化における可能性と基本的な知識を学ぶことが大いに求められています。七尾商工会議所は、事業所皆様のDX化を支援し、地域経済の活性化に取り組んで参ります。

そのためには、事業所皆様の課題を把握し、会員事業所の若手、青年部、女性会の皆様に積極的に商工会議所の運営や事業に参画していただき、若い力、考え方を取り入れ、解決していかねばなりません。能登・七尾が元気になるよう、地域総合経済団体として国・県・市や地域の多様な主体との連携を深め、能登の中核としての七尾の責務を果たすべく『力戦奮闘』することをお誓い申し上げます。

結びにあたり、七尾商工会議所の事業運営に対して、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様ますますご健勝にてご発展されますことを心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。





日本再生・変革に挑む～志を高く、 新しい時代を切り拓く～

日本商工会議所 会頭 小林 健

明けましておめでとうございます。
2023年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

（はじめに）

私は、昨年11月の会頭就任時に「日本再生・変革に挑む」とした所信を表明し、「変革の連鎖」によって日本再生を成し遂げるために全身全霊を傾けることを会員の皆さまに誓いました。また、その後、全国各ブロックの商工会議所の皆さまや都内の中小企業経営者と対話する機会を得て、「現場主義」と「双方向主義」を継承・徹底させていかなければならないとの思いを新たにしました。われわれ商工会議所は、今年も一丸となって事業者の皆さまの声を適切に政策提言や事業活動に生かしつつ、地域経済、日本経済の発展のために力を尽くしてまいります。

（当事者意識を持ち自己変革を）

さて、わが国は、過去20年以上にわたり物価、賃金、生産性がほぼ横ばいという停滞が続き、先進諸国に比して相対的に競争力は低下しています。さらに、昨年、コロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻、世界的なインフレーションなど、大きな環境変化が次々と押し寄せ、極めて予測困難な状況が続いています。

本年は、こうした大きな環境変化に対応しつつ、人口減少や少子高齢化、社会保障費の拡大、財政赤字、人手不足、エネルギー問題、さらには加速するデジタル化やグローバル化への対応などの構造的課題にわが国が正面から取り組み、成長軌道に戻していくための重要な年になると認識しています。足元では、複合的な要因による物価上昇・円安の影響で中小企業は厳しい状況に置かれていますが、われわれ、企業が成長の原動力であるという当事者意識を持ち、現実を直視し、果敢に自己変革に挑まなければ、この時代を生き抜くことはできません。今こそ、渋沢栄一翁の「逆境の時こそ、力を尽くす」という信念に学び、企業経営者が積極的に行動を起こしていかなければなりません。

私は、経営者の責務は、経済価値、社会価値、環境価値の三つを同時に追求すること、即ち社会に責任を持ち、貢献することだと考えています。中小企業は、変化に対する柔軟な対応力を有しており、経営者と現場の距離も近く、経営者の理念を共有しやすい土壌があります。中小企業こそが自己変革と地域貢献・社会貢献の主役であり、日商の会頭として、私が先頭に立って自己変革に挑戦する中小企業のイノベーション創出と付加価値向上を通じた成長を支援、大企業と中

小企業が共存共栄できる社会を目指していきたいと考えております。

（企業の挑戦を支える環境整備を）

一方、政府の重要な役割は、企業の挑戦を支えるための環境整備にあります。特に「民間投資の強力な推進」「持続的に賃上げできる環境整備」「サプライチェーンの強靱化と経済安全保障」「多様な人材が活躍できる国づくり」の四つの対応を政府には求めたいと思います。資源を持たないわが国が持続的に成長するためには、競争力のある「科学技術創造立国」としての地位の確立を目指し、成長のエンジンとなる新たな産業分野へ投資を強力に促進していくことが不可欠です。そのためにも、政府は、新しい資本主義の重点投資4分野における官民の適切な役割分担、リスクシェアリングを図り、企業の成長期待を高めるとともに、十分な規模の政府支出、税制、民間投資を促す大胆な規制改革に取り組んでいただきたいと思います。

エネルギーに関しては、安定供給の確保とともに、2050年カーボンニュートラル実現に向け、GXの活用や原子力を含むエネルギー政策を政府が前面に立って推進することが求められます。さらに、中小企業が賃上げできる環境整備に向けて、取引価格の適正化、デジタル化の推進等、生産性向上への支援強化が必要です。生産拠点の国内回帰を含め、多様化する供給網の整備も急務であり、企業の予見性を高め、自由な経済活動を阻害しない経済安全保障に取り組むべきであると考えます。

（志を高く、新時代を切り拓く商工会議所に）

商工会議所としては、地域の第一線で活躍する会員企業の皆さまと共に、こうした課題や変化をタイムリーに察知し、商工会議所自らも変化に対応できる強い足腰を鍛え、「中小企業のイノベーション創出・成長支援」「大企業と中小企業の共存共栄の実現」「人と企業が輝く地域の創造」の3本柱の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

昨年、日本商工会議所は100周年を迎えました。次の100年に向けて、本年が、「日本再生・変革に挑む」ための力強い一歩を踏み出す年となるよう、スピード感をもって実行していく組織、志を高く、新しい時代を切り拓いていく組織を目指してまいります。皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

2023年 新春インタビュー

七尾商工会議所 会頭 杉野 哲也

【Local Situation】 能登七尾を考える

七尾商工会議所会頭として私で10代目になります。今まで積み上げてきた良き文化、捨ててはならないものもあるだろうけれど、この時代の変化の中で変える必要があるものも出てきています。今は特に「活力」がなくなってきたのではないかと思うのです。その活力を生み出す環境を作り出すために、形式的なものはなるべく排除したいと考えています。過去の否定ではなく、これまでは上手くいっていたものが、変わらなければ上手くいかないのだと理解をすること。このVUCA*時代といわれる予測不可能な時代においては、やりながら軌道修正をしていくしかない。そして、その中で定型化しているものを疑ってみる目を持つことが大切だと思っています。もちろん実行に移すときには、皆さんの理解を得ながら進めていくつもりです。

地域を考えても、人口減少のマーケットの中で商売はどんどんシュリンクしていきます。その中で生き残るためには、自分たちのどの技術を磨き、残し、事業領域をどう増やしていくかを考えないと、最後の姿は廃業になってしまいます。それを回避自分だけで対処するのは難しいことです。その時に、商工会議所が手足となって動いていく必要があります。あそこに行けば答えが変えてくる、お手伝いをしてくれる、複雑な事務ワークの相談にのってくれる、そんな要請に対応できたら七尾商工会議所の会員である価値は出てくると思っています。

人口減少という問題で考えられるのは流動人口を増やすこと、和倉温泉は能登全体で考えても一番中核で人を集められる特別な場所です。我々は観光業とは関係ないからというのではなく、能登七尾を活性化させるならば、この和倉温泉に集中しなければならないと思っています。そして和倉に集

まった人たちをどうやって七尾市内に呼び込んでくるか、奥能登と関係を持たせるか、商品化し魅力をつくり出し、ここに人が来る必然性を持たせていく。和倉ともよく話をし、お互いにメリットのある仕掛けづくりが必要で、日本中全てがライバルになるのだから他の真似をしてもしょうがない、能登独自の仕掛けを作り出さなければなりません。

【Shared vision】 ビジョンを共有する

商工会議所は、今まで参加しづらかった若い人や女性にも参加してもらえるような風土、環境を作っていく必要があります。夢がある、面白そうという「変化」を楽しめるわくわく感ある環境を、土壌を、やりやすい場を作り出すことで、たくさんの人が関わってくる。これからは、若い人が中心に変えていくというスタイルが大切で、我々はそのために動き、ずっと居座ってはいけません。若い人たちが入ってきてやすい環境づくりを行っていく、今がそのスタートだと思っています。七尾商工会議所では3年前から各委員会が動きだしています。その中で、まず3年間の委員会活動を総括し、次の3年間のあり方を4月までに決めたいと思っています。この点は再考が必要、この点はもう少し充足させたいなど今一度考え、商工会議所が打ち出すビジョンをどうやって達成していくか、委員会を超えみんなて情報を共有しながら進んでいくこととなります。全体的な共通目標を設定することで、同じ方向になっていくのだと思っています。

委員会やプロジェクトには、七尾を良くしたいと思う人はみんな参加して欲しいと考えています。興味がある人ならだれでも入ってくればいい。いろいろな人が委員会に入ってきて、委員会の中のプロジェクトリーダーになっていくのが面白いと思います。地域のためならば、どんなツールを使った



ていい、そこで生活し地域をもっと良くしたいという仲間さえいればいい、それが物事を動かす理想的な姿です。

【Philosophy】 打つ手は無限

正解のないものに挑んでいくのだから、上手くいかないこともあるだろうと思います。悪いこと、うまくいかないことには必ずそうなる理由があるわけで、その理由さえ分かれば打つ手はあるものです。やったら分かるのだから前進しているし、また軌道修正もできるはず。あきらめなければ成功するし、途中でやめれば失敗する、全て心持ち次第ということですよ。

心持ちという点で、自分で考え動くことが大切です。人がやるのではない、自分がやる、誰かがやってくれるなんてとんでもない話です。商工会議所活動においてみんなが関わるためには、どれだけ夢を共有できる3年後を描けるか。そしてその3年後で終わりではなく、その次の3年を考えないといけない。若い人たち、Z世代や高校生も巻き込みながら、次々と若い人に手渡していくことが大切だと考えています。

「サステナブル」という言葉をみんな簡単に使うけれど、ずっと変化させて環境に順応していかないと持続可能にはならない。変えるのは億劫なものだから変化を嫌がる人たちもいるだろうけれど、今はまさに外圧に振り回されているから、変化せずにはいられないはずですよ。その中でも、変化を楽しんでほしいと思うのです。ゲーム感覚でもいい、ある種ビジネスもゲームのようなものですよ。「私は苦勞している」と眉間にしわを寄せてやっていたら、人も寄ってこないし広がりも作れないものです。明るくやっていきましょう。

interview & writing 小山百代

*VUCA: ビジネス用語。経済やビジネス、個人のキャリアに至るまで、先行きが不透明で将来の予測が困難な状態を意味する。

建設業部会

新たな3年間 遊園地構想や公共遊休施設利活用の実現へ ～ 12月定例会 第2期の最初の部会を開く ～

12月8日（木）、当所の建設業部会（姥浦昭二部会長）は、部会第2期3年間の最初の部会役員会の11月定例会を改め12月定例会として開催しました。

冒頭、姥浦部会長は、「引き続き自身が新部会長を務める中、役員は少なくなったが、新たな人選もあり開催することができた。第1期の活動を第2期に活かしていきたい」と挨拶しました。

最初に、本日出席者の自己紹介を兼ねて第2期役員構成について、新部会長以外の新役員は次のとおり確認しました。

新副部会長は2名で共に幹事から異動の室塚宏一氏（尙室塚ポンプ専務）と伊藤隆行氏（株旭電機商会社長）、幹事は6名で副部会長から異動の野見俊彦氏（株野見塗装工芸社長）、再任が浦谷宏信（浦谷建設株社長）、川田尚昭氏（株川田組）、白山竜俊氏（株シラヤマ社長）、戸田充氏（株戸田組社長）、新規人選の中出正人氏（尙ナカデ社長）。合計では9名となり、前期より6名の減少となりました。任期は令和4年11月1日から令和7年10月31日までの3年間とな

ります。

次に、協議事項に入り新年度（令和5年度）部会事業計画（案）では姥浦部会長からの提案があり、具体的な継続事業として〔仮称〕七尾ベイエリア遊園地構想（遊園地構想）の推進・県有地活用に関する県議会議員との意見交換会開催と七尾市公共遊休施設の有効利活用に対する勉強会及び提言、交流事業として市当局担当部署（企画振興部・建設部）の部課長との意見交換会開催及び商業部会との合同意見交換会開催について、これまでの活動の振り返りを交え検討し、出席者からも概ね理解を得て、次回の定例会で決めることになりました。

また、定例会（役員会）の日程では、原則、第1期が奇数月開催であったが、第2期は偶数月開催とし、今回は2月9日（木）の11時開催を決めました。

最後に、令和5年度の市への要望書を確認して姥浦部会長は「当部会からも令和6年度の市への要望を出せるよう活動していきたい」という認識を出席者と共有して閉会しました。

商業部会

どうしたら七尾が若者からの共感と認知度向上を引き出せるか ～ 第6回役員会 新たに第2期の最初の部会を開催 ～

12月16日（金）、商業部会（久保晋部会長）は当所にて、昨年11月から新たな構成員を含む部会第2期に入った役員会（第6回）を開きました。

冒頭、久保部会長は、「引き続き自身が新部会長を引き受けることになりましたが、新規人選もあり新たな3年間の部会の方針、事業計画を早めに決めていきたい」と挨拶しました。

最初に、新規役員を紹介を兼ねて第2期役員構成について、前回10月の役員会で未定であった幹事数名も10月末迄には決まったことを確認しました。

未定であった幹事には再任の国分誠雄氏（株コクブ社長）、新規の山口宗大氏（株どんたく社長）と関谷由憲氏（尙大根音松商店社長）の3名が就任しました。

新規役員で出席された副部会長の白井修氏（株しら井社長）と幹事の関谷氏には就任の挨拶を頂きました。任期は令和4年11月1日から令和7年10月31日までの3年間となります。

次に、協議事項に入り新年度（令和5年度）部会事業計画について、先ず新たな3年間の方針を決めるにあたり、出席者個々の意見・感想を交えながら前期3年間の部会の方針、事業計画、活動を振り返るなどで検討しました。

白井副部会長から「七尾や個店の認知度が足りず、もっと向上させることが急務である。特に若者・若い人へのアピールには、どのように情報を届け響かせ共感をひきだせるか」の提案・テーマが、七尾の課題として出席者全員が共有する認識となりました。また、前期部会からの引き継ぎとして、建設業部会との連携・共同を確認しました。

次年度の方針や事業計画（案）は、今回の振り返りや検討を踏まえて次回役員会において概ねの骨子を決めることとなりました。

最後に、久保部会長は「役員会の開催は、必要に応じて随時2～3箇月に1回の開催を計画しており、今回は方針等もあり2月を予定している」ことへの出席者の承認をえて閉会しました。



N-As(エヌアス) 通信

ななお経営支援センター(N-As)
 ななお創業応援カルテット
 石川県よろず支援拠点能登サテライト

七尾(N)の明日(As)の経営/経営のなやみ、なんでも、お手伝い

最近の景況・業況の動向についてのアンケート調査ご協力をお願い

皆様の声をお聞かせください



URL:<https://nanao-cci.or.jp/keikyo-e/>



回答はこちらから↑

当所では、管内の景気動向と経営状況を把握するため、役員・議員・評議員・会員の皆様のご協力を頂いて標記調査を行います。

つきましては、ご多忙の折誠に恐れ入りますが、アンケート調査のご協力をお願い致します。右記のURL、QRコードにて、1月31(火)までにご回答いただきますようお願い申し上げます。

「お店のためのInstagram活用セミナー」

12月20日(火)、七尾商工会議所・ななお経営支援センターは石川県よろず支援拠点の守部和孝コーディネーターを講師に招いて、「お店のためのInstagram活用セミナー」を開催しました。

Instagramで実際に成果をだしている方法についてのセミナーです。参加者は初めての方も、すでにお店で活用している方もおられました。業種業態によって方法が違いますが、様々な方が成果を出しているということで、多くの質問があり活気あるセミナーとなりました。

具体的にはすでに七尾で活用している3業所の事例を紹介し、どのように活用してきたのかという仮説の立て方が中心となる内容です。

参加者はインスタグラムというツールへの理解だけではなく、うまくいく方法というものの投稿がどのように考えられているのか、集客するにはどのようにすればいいのか、最短でうまくいく方法はこういったものを

かを具体的に考えることができて感じていました。

守部講師は、「Instagramの活用はお店によって様々です。自分のお店のことを考えて仮説を立てて取り組むことが最短になります。その仮説の立て方と検証方法を知りましょう」と伝えていました。

七尾商工会議所では毎月セミナーを開催していくので、ぜひお気軽にご参加いただければと思います。



セミナーのご案内 (受講無料)

セミナー名・日時	講師	申込方法(QR)
◎お店のためのLINE活用セミナー 日時：令和5年1月24日(火) 14:00~15:30 場所：七尾商工会議所 3F 301会議室 (七尾市三島町70-1) 持物：ノートパソコン、メールアドレス、スマホ 定員：5名限定 (先着順とさせていただきます。)	守部 和孝 氏 (公財)石川県産業創出支援機構 石川県よろず支援拠点 コーディネーター	
◎消費税のインボイス制度対策セミナー 日時：令和5年1月27日(金) 場所：七尾商工会議所 2F 研修室 (七尾市三島町70-1) セミナーA(課税事業者向け) 10:00~11:30 セミナーB(免税事業者向け) 14:00~15:30	しょじ あきお 所司 安輝朗 氏 所司久雄税理士事務所 副所長/税理士	

中小企業・小規模事業者のための DX化ははじめの一步

主な講座内容

- IT導入補助金解説とDX推進の必要性
- DXの基礎知識
IT化・デジタル化と何が違うのか
AI・IoT・クラウド・5Gの超基本
Society5.0とは
- 先行事例から学ぶ企業のDX化
業務効率化のためのDX
顧客獲得・売上向上のためのDX
- 中小企業・小規模事業者のDX実現のポイント
DX実現のロードマップ
DX実現に求められる人材像と組織
DX企画発想のヒント

業績を伸ばす企業にとってデジタル技術の導入・活用は重要な課題です。新型コロナウイルスの影響により、DX（デジタルトランスフォーメーション）導入の動きを加速させる企業が増えている中、自社の経営力向上にもつながる新時代のビジネスモデルについて、早めの情報収集が必要です。国のコロナウイルス対策支援とIT導入補助金2022の概要、DXの意味、その事例から自社へ導入のイメージなど全国各地で人気の講師が分かりやすく解説します。



〈講師プロフィール〉

ふじわら たかゆき
藤原 敬行 氏
ナレッジフォース・パートナーズ 代表

日 時 令和5年 **1月26日** (木)
14:00 ~ 16:00
場 所 七尾商工会議所 2F ホール
(七尾市三島町70-1)
受講料 **無料** (会員・非会員 問わず)
定 員 **30名** (先着順)

【お申込み方法】



←こちらからお申込みできます。

TEL : 0767-54-8888

ものづくり補助金セミナー

ものづくり補助金

- 対象取組み
**新商品・サービスの開発、
新たな生産・提供方式の導入**
- 補助対象経費
機械装置費、システム構築費、外注費等
- 補助額：上限 **750~1250万円** (通常枠)
- 補助率：中小企業 1/2、小規模事業者 2/3



お申込みは
こちらから↓

ものづくり補助金の概要、ものづくり補助金の申請の準備、事業計画書策定のポイント、加点項目等をご案内します。



**受講
無料**

日 時：【第1回】令和5年 **1月25日** (水) 14:00~15:30
【第2回】令和5年 **2月15日** (水) 14:00~15:30
場 所：七尾商工会議所 3F 301会議室 (七尾市三島町70-1)
定 員：**5名限定** (先着順とさせていただきます。)
※詳しくは同封のチラシをご覧ください。
共 催：七尾商工会議所 ななお経営支援センター
公益財団法人石川県産業創出支援機構



(公財)石川県産業創出支援機構
石川県よろず支援拠点
コーディネーター
講師 **中嶋 克也 氏**

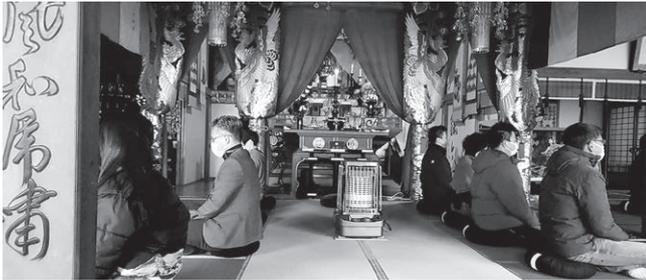


12月定例会

「続・みんなで楽しく交流しよう！大人のミニ遠足」

12月11日（日）、七尾商工会議所青年部（会長：尾古隆史）は12月定例会を開催しました。今回の定例会は、7月に開催した青年部OB会との交流事業の続編として大人のミニ遠足を実施しました。

初めに和倉町の青林寺にて坐禅の体験をした後、国指定登録有形文化財の御便殿にて僧侶からお話を聞かせていただきました。その後、能登島に移動して、建設途中の北陸最大級の地ビール工場「金沢ブルワリー能登島工場」にて工場長さんから施設案内とアルコー



座禅体験

ル類、清涼飲料水製造の説明を聞きました。

昼食は、パトリア1階の「里山里海キッチン」にて YEGメンバーのお店の料理を食べながら、4チームに分かれてクリスマスケーキを作りました。

今回の定例会を企画した、交流なかよし委員会の小山瞳委員長は、たくさんのアクティビティを通してメンバーの結束力はより一層強まったのではないかと話しました。



クリスマスケーキを作るメンバー



七尾商工会議所女性会

14年ぶりに広報誌「おいでまVol.2」を発行

七尾商工会議所女性会では、14年ぶりに広報誌「おいでまVol.2」を発行しました。「ななお会議所だより12月号」と一緒に配布しました。

特集「私たち、こんな商いしています」では、会員80名の紹介を顔写真付と事業所の紹介文とともに掲載しています。巻末には、2021年「ななお会議所だより9月号」に掲載致しました木下八重子前会長・特別顧問と沢野千穂子会長とのインタビュー記事を掲載しています。裏表紙は、七尾が誇る青柏祭「でか山」です。

右記のQRからもダウンロードできますので、ぜひ、多くの方に読んでいただきたいです。



← 広報誌「おいでまVol.2」のダウンロードはこちらから

「のと・七尾共創塾」が閉講 ～自らが描く新事業の創出について発表～

12月10日（土）、当所は能登食祭市場研修室にて、第5回のと・七尾共創塾講義を開催しました。

最終回となる今回は、塾生が自分の目標や所属する組織の強み、事業を持続させる仕組みを発表しました。

発表を受けて、茶谷七尾市長は「常識にとらわれず、今後も新しい発想で七尾の発展にご尽力いただきたい」と述べ、杉野会頭は、「のと七尾の活力創造の

担い手として、そして各々の事業所における指導者として、ご活躍していただけることを願います」とエールを送りました。

閉講式では、山沢栄作氏（七尾自動車学校）が塾生を代表して、杉野会頭から受講修了証書を受け取り、のと・七尾共創塾は幕を閉じました。



閉講式後の塾生の記念写真

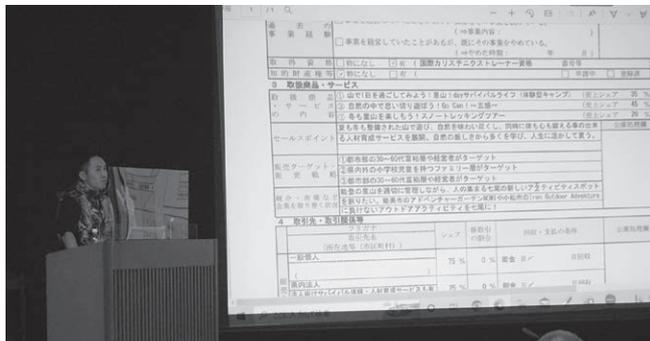


塾生代表の山沢氏へ証書が授与される様子

<七尾創業アカデミー第8講を開催>

11月30日（水）、七尾創業アカデミー最終回となる第8講を開催しました。

最終回はこれまでインプットした学びをもとに各々が作った創業計画を発表する度胸試しの機会として、受講生の中から勇気を持って挑戦した6名による発表が行われました。発表をされた皆さんは初めてのこ



事業計画について発表を行う受講生代表

であるにも関わらず、堂々とした姿勢で10分間の発表を行い、ななお創業応援カルテット参画メンバーによる質疑応答や講評に対し的確に回答していました。

今期は過去最大となる約30名もの方々が無事卒業され、ななお創業応援カルテットでは引き続き、卒業生の創業に向けた個別支援を行っていく予定です。



発表内容を真剣に聞き入る講評者陣

<能登SDGs市民大学 2nd season 第4回講義を開催>

12月1日（木）、能登SDGs市民大学 2nd season 第4回講義が実施されました。第4回ではTBSホールディングス社長室SDGs企画部長である井上波先生に講師を担って頂き、前半は「能登から地球を笑顔に！メディアとのパートナーシップの可能性」と題して講義を行っていただきました。



講義を行う井上波先生

後半は「地方こそSDGsの推進力！能登から世界を変える作戦会議」と題して、受講生代表の5名交えて実際に何から始めたら良いのか？能登らしい取組とは？といったテーマで気づきとアクションにつなげるパネルディスカッションを実施しました。



受講生代表をまじえたパネルディスカッション

<能登SDGs市民大学 2nd season 第5回講義を開催>

12月22日（木）、能登SDGs市民大学 2nd season 最終回となる第5回講義が実施されました。第5回では金沢大学融合研究域教授である松島大輔先生に講師を担って頂き、前半は「コミュニティ暗号貨幣SATOは地方を救う！七尾から世界をSDGsスイッチ（転換）！」と題して、講義を行っていただきました。



講義を行う松島大輔先生

後半は金沢大学融合研究域松島研究室の学生4人がファシリテーターとなり、「コミュニティ暗号貨幣SATO」をシュミレーションゲーム方式で体験できるワークショップを開催し、ゲームをプレイすることで、SDGsの取組み方のヒントを得られる機会となりました。



ワークショップを体験する受講生



認知症の人に やさしいまちプロジェクト

七尾市には在宅で暮らす認知症の方が1,000人以上います。認知症があっても自由に外出して好きなものを食べ、安心して買い物などができるように七尾市ではやさしい安心なまちを地域のみなさまとつくっていきたいと考えています。

このプロジェクトにご賛同・ご参加いただき、認知症やその対応方法を学び、認知症の方をやさしく見守る商店・事業所などを募集します。みなさまのご参加をお待ちしています。

<プロジェクトの流れ>

1.	下記日程の認知症サポーター養成講座に職員・従業員1名以上が参加し、認知症について理解を深める
2.	その商店・事業所が「認知症の人にやさしい店・事業所」として登録される (市・社協のホームページで周知)
3.	登録後に「認知症の人にやさしい店・事業所」ステッカーを受け取り、店舗に貼る
4.	定期的(2年に1回程度)に職員・従業員が認知症サポーター養成講座を受講し、認知症について理解を深める

◆認知症サポーター養成講座 (参加はいずれか1回)

開催日時：令和5年 **3月4日(土) 14時～16時**
3月8日(水) 14時～16時
3月9日(木) 18時～20時

定 員：各回50名程度

会 場：矢田郷地区コミュニティセンター1階 多目的ホール

※新型コロナウイルス感染症の感染状況をみて、オンライン型の研修になることもあります。予めご了承ください。

内 容：プロジェクトの説明 10分
 認知症について学ぶ 60分
 認知症の方の対応について学ぶ 30分
 認知症の方の相談窓口や七尾市の取り組みを知る 20分

<お問合せ>

七尾市地域包括支援センター TEL (0767) 53-5789
 〒926-0811七尾市御祓町1番地(パトリア3階 窓口⑦)

<お申込み>

①TEL：0767-53-5789
 ②FAX：0767-53-4100
 (同封のチラシをご覧ください。)

事務局：七尾市高齢者支援課 (TEL 53-8463)、七尾市地域包括支援センター

申込締切：令和5年2月17日(金)

後 援：七尾商工会議所

協 力：七尾市在宅医療・介護連携推進協議会

税務署からのお知らせ

確定申告の準備はお早めに!!

【自宅でいつでも申告】

確定申告には、お持ちのスマホやパソコンでご利用いただけるe-Tax（電子申告）が便利です。多くの方が来場する確定申告会場に出向かなくても、「マイナンバーカード」と次の①～③のいずれかの機器があればいつでもe-Taxができます。

- ①スマホ ②パソコンとスマホ ③パソコンとICカードリーダー

マイナンバーカードをお持ちでない方は、事前にお近くの税務署でID・パスワード方式の手続きを行っていただければ、e-Taxをご利用いただけます。詳しくは、国税庁ホームページ（<https://www.nta.go.jp>）をご覧ください。

【税務署での申告相談の受付期間】

受付期間：令和5年2月16日（木）から3月15日（水）

受付時間：9時～16時 月曜日～金曜日（祝日を除く）

（注）会場への入場の際には、「入場整理券」が必要となります。入場整理券は会場で当日分を配付するほか、国税庁のLINE公式アカウントでのオンライン事前発行も行っておりますので、ぜひご利用ください。なお、「入場整理券」の数には限りがありますので、ご承知おきください。

石川県内の最低賃金



で労最
き働動
ませ者
せん。賃
最低賃
金より
使用す低い
ること賃
は金で

最低賃金の名称	時間額（円）
▶地域別最低賃金	
石川県最低賃金	891
▶特定最低賃金	
一般機械	971
自動車	971
電気機械	923
百貨店	915

■最低賃金に関するお問い合わせ先
石川労働局労働基準部賃金室
☎076-265-4425
または最寄の労働基準監督署



↑資料はこちら

第163回

日商簿記検定試験のご案内

- 試験日：令和5年2月26日（日）
- 場所：七尾商工会議所
- 受講料：2級 4,720円
3級 2,850円
- 窓口申込
期間：令和5年1月10日（火）～
1月27日（金）
- お問合せ：七尾商工会議所
TEL 0767-54-8888

ご協賛のお願い

第15回アジアテレビドラマカンファレンス

七尾市におきまして、2023年2月7日～9日に韓国をはじめ世界で活躍するクリエイターを招待して、日本のコンテンツ業界を世界的競争力のある産業にするための国際会議「第15回アジアテレビドラマカンファレンス（ATDC）」が開催されます。本国際会議は七尾市の主催で行われ、カンファレンスの記録映像の中で七尾市が紹介されます。主管する下記団体から依頼がありましたので、ご協賛をお願いするものです。

事業の内容については「**第15回アジアテレビドラマカンファレンスイン能登**」で検索をお願いします。

尚、詳細については下記団体までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 一般社団法人ATDC
〒162-0818 東京都新宿区築地町4番地 神楽坂テクノスビル
連絡先：090-8814-7840（沼田取締役プロデューサー）

『夢をかなえる、困りごとを解決する』 が高付加価値のカギ

川口商工会議所が主催した2022年「第2回川口の元気経営大賞」の審査員をさせていただいたご縁で、大賞を受賞したフジムラ製作所とチャレンジみらい賞を受賞したレポルの社長に話を伺いました。

フジムラ製作所は従業員が110人の板金加工の会社で、少量多品種の製品を短納期で提供することで急成長しています。先代が起こした小さな町工場がリーマンショックの影響で苦境に陥ったとき、大手がやらないこと、できないことを必死で模索した結果、試作品などの少量品の加工を請け負うことに活路を見いだしたそうです。その後、設計データ受け入れから製造の自動化までデジタル化を徹底して、現在は1日500種類の製品を手掛け、少量多品種の短納期での製造を実現しています。

もう1社、話を伺ったレポルは、美容室チェーンを展開しているほか、創業時からの主力事業である美容室向け薬剤の製造卸の会社です。VR技術を取り入れた美容師の教育のための施設をつくってサービスの品質を高めたり、鏡にデジタルディスプレイを採用してお客さんの髪型を自由に変えてシミュレーションして見せたりすることで顧客満足度を上げています。地元の福祉施設と連携して、美容室で子どもたちの絵を飾るなど、地域との関わりも深めています。

両社とも、低価格勝負ではなく、相応の利益を出しながら急成長を続けています。話を伺いながら、顧客のわがまま（個別のニーズ）に向き合うことこそが高付加価値なビ

ジネスを実現する鍵になっていると感じました。顧客のわがままをと何かをもう少し考えてみると、「顧客の夢をかなえる」か、「困りごとを解決する」かの二つに分けられるでしょう。

「夢をかなえる」とは顧客にとって新たに手に入れたいものを提供したり、顧客が目指す姿の実現を後押ししたりすることです。「困りごとの解決」は文字通り、顧客に不足しているものや行き詰まっていることに対するソリューションの提供です。

どちらにしても、前提となるのは「顧客の夢」や「困りごと」というややエモーショナルな部分への共感が大切になってきます。単にモノやサービスをやりとりするだけでなく、顧客の満足の基となる考え方や状況に対して共感を持って向き合っていることが重要なのです。

先に挙げた両社とも、社員の教育や待遇の改善にとても力を入れています。営業職のように直接顧客と接するポジションでなくても、常に顧客を意識して求めるところや困りごとが理解できるよう、個々のスタッフのコミュニケーション力や対応できるスキルの向上を重視しています。何より、モチベーションを高く持ち、仕事に取り組んでもらうためには「とにかく給料を上げること」（フジムラ製作所の藤村智広社長）だと言います。今回、話を伺った2社とも、業界の常識から見れば「そんな非効率なことをしたら会社がつぶれる」（藤村社長）と言われたことに挑戦し、そこを乗り越えた先で成功をつかんでいました。

日経BP総合研究所 上席研究員 渡辺 和博



【プロフィール】◇渡辺 和博／わたなべ・かずひろ

日経BP総合研究所 上席研究員。1986年筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年日本経済新聞社入社。IT分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌編集部を経て現職。全国の自治体・商工会議所などで地域活性化や名産品開発のコンサルティング、講演を実施。消費者起点をテーマにヒット商品育成を支援している。著書に『地方発ヒットを生む 逆算発想のものづくり』（日経BP社）。

2023 行事カレンダー

1月 January

- 16(月) 小規模事業者持続化補助金の概要と書き方
- 17(火) 七尾の未来構想委員会
- 18(水)
- 19(木) 電子帳簿保存法改正の概要と対応ポイント
- 20(金) 七尾特産品協会・七尾商店街連合会合同講演会
- 21(土)
- 22(日)
- 23(月) 七尾市制度資金融資委員会
正副会頭会議
七尾商工会議所正副会頭及び青年部並びに女性会と七尾青年会議所との合同新春懇談会
- 24(火)
- 25(水) 七尾創業カルテット連絡会議
- 26(木) 中小企業・小規模事業者のためのDX化ははじめの一歩セミナー
- 27(金)
- 28(土) 職員採用1次試験
- 29(日)
- 30(月)
- 31(火)



2月 February

- 1(水) 県内会議所連合会令和4年度税務指導連絡協議会
- 2(木) 日本・タイ王国 第22回お互いフォーラム国際会議
- 3(金)
- 4(土)
- 5(日)
- 6(月)
- 7(火) 正副会頭会議
- 8(水)
- 9(木)
- 10(金)
- 11(土)
- 12(日)
- 13(月) 女性会新春会員懇談会・特別講演会
- 14(火) 青年部理事会
- 15(水)

